

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



さいたま市立
指扇小学校



学校教育目標

やり抜く子の育成 **かしこく やさしく たくましく**

- 【知】かしこく…よく考える子
- 【徳】やさしく…思いやりのある子
- 【体】たくましく…心身ともにたくましい子
- 【まなこ(心)】あたたかく…人とのかわりを大切にする子



■所在地：さいたま市西区西大宮 1-49-6 ■電話：048-623-0133
 ■FAX：048-622-2200 ■交通：JR 川越線西大宮駅徒歩 7~8 分

01 児童の安心・安全な学校生活のために



本校では、安心・安全な学校生活の基本として、「あいさつ」に力を入れ、様々な取組を行っています。生徒指導部を中心に「本物のあいさつ（自分から進んであいさつ）」を様々な場面で呼びかけたり、児童会が「あいさつキャンペーン」を実施したりと、皆が気持ちよく安心して生活できるよう努めています。さらに、中学校との合同あいさつ運動や、地域の方々にも積極的にあいさつできるよう、定期的な取組等も行っています。



02 児童と地域の方々とのつながりを深めるために



本校では、地域の方々を中心とした多くの防犯ボランティアの皆様に登下校を見守っていただいております。児童の登下校の安全が守られています。また、各学年の学習においても、地域のボランティアの皆様にご支援をいただいております。内容としては、1年生生活科における「どんぐり拾い」、2年生生活科における「芋ほり」などです。また、11月にはこうした皆様にお手紙を書いて、感謝の気持ちを伝える取組などを行っています。このような様々な機会を通じて、地域の方々とのつながりを深めています。

03 環境教育の充実のために



本校は、平成17年にピオトープを設置し、さらに平成25年に開校140周年記念行事として、PTA指小サポーターのお力により、大規模な改修工事が行われ、現在に至ります。200㎡ほどの敷地は、池を中心に、自然に近い状態が保たれています。池には葦や蒲などが生い茂り、メダカが自然繁殖しています。また、周囲の草の中には、バッタやトカゲなどの昆虫や爬虫類が多数生息しています。生活科や理科、総合的な学習の時間の学習等を通してピオトープを活用し、環境教育を推進しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会はSDGs教育を推進しています。



さいたま市立
馬宮東小学校




学校教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

困るい心の やさしい子	みずから学ぶ かしこい子	やる気ではげむ たくましい子	コミュニケーションが じょうずにとれる子
----------------	-----------------	-------------------	-------------------------

知・徳・体・コミュニケーションのバランスのとれた子どもをはぐむ
合言葉「あいさつと元気がある馬宮東小学校」

令和5年度にて創立150周年



■所在地：さいたま市西区大字西遊馬 189-1 ■電話：048-624-4452 ■FAX：048-624-2247
■交通：JR川越線 指扇駅から徒歩で馬宮コミュニティセンター前下車徒歩4分

01 外国への洋服の寄付活動



本校の目指す学校像「社会に学ぶ」ことについて、その大切さを児童に指導し、寄付活動を通してリサイクル、リユースについて学ぶとともに、



夏服募集を呼びかけるポスター



回収した学用品



ふれあい委員会による仕分け作業の様子

内にボランティア団体を通して諸外国へ寄付する活動を行っています。

02 生物の多様性や生態系の保護について考える学習活動



3年生の総合的な学習の時間の中で、馬宮環境保全会、埼玉南部漁業協同組合、利根川水系土地改良調査管理事務所、さいたま市農業環境整備課、さいたま農林振興センター等の協力のもと、地域に生息する生き物を知り、生物の多様性や生態系の保護について考える学習活動をしています。例年、学校周辺に出向いて学習活動をしています。



「田んぼの学校」にて、生き物の説明の様子

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

馬宮西小学校

本校はさいたま市西区の荒川右岸地域に位置し、地域とともに歴史を重ね、令和5年度には創立148周年を迎えました。

<学校教育目標> ①なぶ子 ②とめあう子 ③りぬく子

<合言葉> ④ここにこ…なかよく ⑤っかり…学ぶ

小規模校の良さを生かしたアットホームな雰囲気の中、「愛」があふれる教育の推進を目指した学校運営を行っています。



- 所在地：さいたま市西区飯田新田189番地2
- 電話：048-624-4041
- FAX：048-624-2273
- 交通：JR大宮駅西口より西武バス乗車30分

01 充実した縦割り活動の推進



本校では全校児童を6つのグループに分けて年間をとおして縦割り活動を行っています。主な活動に学校

飼育動物の世話、縦割り遊び、交流給食があります。また、毎年秋に行われる「馬西っ子まつり」は縦割り班でお店を出します。冬には、児童全員がチューリップの球根を植え、次の新入生を迎える準備をします。児童同士が互いを気にかけて、思いやる気持ちや態度が身に付き、地域を大切にすることへとつながっています。



02 食への関心を高める活動の展開



本校では1、2年生や特別支援学級を中心に年間をとおして野菜の栽培活動を行っています。また、地産

地消を大切にし、学区内の野菜農家さんや米農家さんが、丹精込めて育ててくださった食材を給食に提供していただいています。学習の中で、2、3年生がそら豆やグリーンピースのサヤをむく活動をとおして、食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることや、自然の恩恵の上に成り立っているものであることへの理解を深めています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

植水小学校



<元気いっぱい さわやかえがお ひとみかがやく植水っ子>

- 1 学びを創造し、一人ひとりが輝く学校
- 2 安全・安心で、心地よい教育環境の学校
- 3 家庭・地域と連携・協働し、ともに歩む学校



■所在地：さいたま市西区中野林225-1

■電話：048-624-4235

■FAX：048-624-2280

■交通：大宮駅から水判土（みずはた）バス停下車徒歩8分

01 「自助・共助」を育む安全教育の推進



本校は鴨川、荒川の流域沿いにあり、豊かな水資源により、水田が多く広がる地域である。一方、昔から水害が多く、学区内にも家屋倒壊等氾濫想定区域が多く指定されている。



本校の安全教育では、「自助・共助」の「自助」を育成し、『自分の命・身は自分で守ること』を目標に、定期的な「避難訓練」を実施している。

また、防災に視点を置いた授業を教育課程に効果的に位置付け、災害に対する準備や、災害発生時におけるリスクや具体的な避難行動等に対する態度を育成していく。



02 よりよい人間関係の醸成



互いに協力して活動する楽しさと大切さを学ぶことや異学年の交流をはかり、活動を楽しむことを目的とした「植水まつり」を実施している。「心を潤す4つの言葉」のキャンペーン期間を設け、様々な取り組みを通してなどキャンペーン期間を設けることで「いじめ防止」へとつなげている。



児童が学級に所属感をもち、達成感を味わわせる豊かな関わり合いを重ねている。

03 家庭・地域との連携



学区内の農家の方々と JA さいたまのご協力を得て、収穫されたお米を JA を通じて支援米として「マリ共和国」に送っている。今年度は、昨年度まで実施できていなかった田植え・稲刈りを予定している。また、支援米の袋に5年生の児童が作成した自作のシールを貼るなどの活動は今後も続けていく。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 大宮西小学校** > > > > > > >

本校は、豊かな自然に恵まれた、開校54年目の学校です。
「明るく元気な子」「なかよくする子」「かんがえる子」「つたえあう子」を学校教育目標とし、自分と共に他の人を大切にする子どもの育成—自他共愛—に取り組んでいます。



■所在地：さいたま市西区三橋5-1359 ■電話：048-624-0035
■FAX：048-624-2316 ■交通：大宮駅西口 西武バス佐知川行き 佐知川住宅前下車 徒歩約1分

01 自然に触れ、自然に学ぶために



本校は、豊かな自然を生かして校地内に「潤い自然園」を設置しています。
創立50周年を迎えた令和元年度には、学校、PTA、行政が連携を図りながら、大規模な整備を行いました。

「潤い自然園」での体験活動を通して、自然に触れ、自然で学ぶことによって、今まで以上に児童が自ら主体的・能動的・協働的に学習に取り組むようになれば、児童の環境保全に対する意識が高まるとともに、本校の目指す児童像にもある「自他共愛」の精神も高まると考えています。

また、「潤い自然園」内にあるビオトープを活用することにより、水辺の生き物の観察等をとおして、水資源の重要性を知り、自分たちで安全な水を管理していく気持ちを育みたいと考えています。



「潤い自然園」の維持管理には、ウエストパワーズ（おやじの会）をはじめ、保護者、地域の皆様に多大なお力添えをいただいております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
栄小学校



学校教育目標

○健康でたくましい子 ○進んでかかわる子 ○思いやりのある子

<目指す学校像>

- 「あした・希望・未来」へ羽ばたく学校
- みんなで知恵を出し合い創りあげる学校

<目指す児童像>

- | | | |
|-----------|-----|-----------|
| 健康でたくましい子 | ・・・ | ●元気いっぱい |
| 進んでかかわる子 | ・・・ | ●あいさついっぱい |
| 思いやりのある子 | ・・・ | ●なかよしいっぱい |



■所在地：さいたま市西区飯田 8 1 1 番地 ■電話：048-623-0775
 ■FAX：048-624-2336 ■交通：JR大宮駅から西武バスで東五味貝戸バス停下車徒歩 10 分

01 人と環境にやさしい給食



本校の給食では、毎日の残菜調査や児童・教職員の意見を取り入れながらの味付けや量の調整、新献立の開発を行っています。また、地元の馬宮米部会の方々が育ててくださったお米を使用しています。

その他にも、食に触れる体験（そらまめのさやむき・とうもろこしの皮むき）や給食委員会によるワゴンチェック、給食室のビデオ放送等を通じて、食べ物を大切に、食に関わる人に感謝の気持ちを持てるように働きかけています。



02 雨水を利用した環境整備



(1) さくら草の栽培

本校では、平成9年度から、地域のさくら草ボランティアの方々の協力のもと、3、4年生を中心にさくら草の栽培体験学習を行っている。さくら草は水の管理が重要で、水道水を使いながらも、雨水も利用して栽培をしている。水道がない場所に雨水タンク・蛇口があり、とても便利に活用している。

(2) 校庭への散水

本校では、雨水の貯水タンクが地下に設置されており、校庭の散水に利用している。散水は自動散水できるようになっており、校庭の状況を見て、迅速に散水することができる。散水に十分な雨水を貯水できており効果的に活用することができる。

【ワゴンチェック】



【散水操作盤】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 宮前小学校**



本校は、さいたま市の北西、交通の要衝「宮前インターチェンジ」のすぐ近くに位置しています。学校の周りには自然が残り、横を流れる鴨川には四季を通じて水鳥が羽を休め、コイやカメ、時にはカワセミに出会うこともあります。学校の広い校庭には、毎日子どもたちの元気な声が響き、学校全体が活気に満ちています。このような恵まれた環境を生かし、児童に豊かな心と健やかな体をはぐくむとともに、保護者や地域の皆様、企業と連携して、地域に根ざした学校づくりに取り組んでいます。



■所在地：さいたま市西区宮前町 341 ■電話：048-623-8121 ■FAX：048-624-2357
 ■交通：JR 大宮駅西口より東武バス 「宮前小学校入口」下車徒歩 3 分

01 食育の充実 「自然のめぐみ たくさんの感謝をこめて いただきます」



本校は、安全・安心なおいしい給食の提供を通して、食育を推進しています。また、食育に関する情報の積極的な発信に努め、SDGs の目標 2 「飢餓をゼロに」に寄与していきたいと考えています。

- ・食育掲示板での食に関する情報提供
- ・学校ホームページでの給食献立紹介
- ・季節行事を意識した給食献立の提供と食文化の継承
- ・第 6 学年テーブルマナー給食の実施
- ・放送委員会の児童による、給食の時間における情報発信
- ・給食委員会の児童による、給食完食を目指すポスター制作
- ・地場産物（西区で生産されたお米や梨）や埼玉県の郷土料理を取り入れた給食献立
- ・「グローバル・スタディ」授業において児童が考案した給食献立の実施



【第 6 学年テーブルマナー給食の様子】

02 「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び」の充実 「ねばり強く学習に取り組む児童の育成」



本校は令和 3・4・5 年度、さいたま市教育委員会より研究指定を受け、「ねばり強く学習に取り組む児童の育成」～個別最適な学びを通じた授業改善～をテーマに研究に取り組んでいます。SDGs の目標 4 「質の高い教育をみんなに」に寄与していきたいと考えています

- ・児童の学習状況の把握
- ・学習状況に応じた適切な支援
- ・児童の実態に応じた適応問題の実施
- ・振り返りの実践
- ・児童自身が自らどのような方向性で学習を進めていくか選択する場の設定
- ・意欲的に取り組める教材の工夫
- ・対話的活動の充実
- ・深い学びの実現



【第 6 学年理科授業の様子】



【第 5 学年国語科授業の様子】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立

指扇北小学校



本校は、学校教育目標をあかるく（思いやりがあり、前向きにとらえる子）かしこく（進んで学習し、よく考えて正しく判断できる子）たくましく（元気に活動し、根気よくがんばる子）とし「確かな学力」と「体力」の向上が図れる学校を目指している。また、地域に根ざした信頼される学校を目指し、保護者・地域・教職員が一丸となり、日々の教育活動を進めている。



■所在地：さいたま市西区中釘1506-1 ■電話：048-622-4131
 ■FAX：048-622-2358 ■交通：JR川越線西大宮駅徒歩30分

01 SDGsへの関心を高める「SDGsチェックカード」



令和4年度から「SDGs委員会」が発足した。委員会児童と話し合い、「17の目標を達成できるようにしよう」という目標を掲げてスタートした。まずはSDGsのことを知ってもらうためには、どのような手立てが必要かを話し合ったところ、「全ての目標を一度に意識するのは難しい」「学校の中で全学年が取り組めるものにしたい」「17の目標と関連して、毎月17日にSDGsを意識するようにしたらどうか」等の意見が挙がった。

そうした意見を元に「SDGsチェックカード」を作成し、全学年で取り組むこととした。毎月17日を「SDGsチェックデー」とし、17の目標から季節に合わせた3つの目標を設定し、全児童が身近に取り組めそうな具体的な内容に変更してどれぐらい意識できたかを三段階で自己評価するカードを作成した（例…水を出しすぎないようにしよう）。また、4つ目の目標は空欄にしておき、自分が意識したい目標を記入し、より自分事として取り組めるようにした。カードは、委員会児童が回収して達成率を計算し、一定基準を超えた学級を校内放送で発表したり、賞状を作って渡したりすることで取り組みの価値を高めていった。



02 福祉に対する意識を高めるための年3回の募金活動



本校では、学期に1回の募金活動を通して、福祉に対する意識を高めている。1学期「緑の羽根募金」、2学期「赤い羽根募金」、3学期「ユニセフ募金」を行い、一週間の期間を設けて取り組んだ。

募金についての保護者向け文書を活用して募金袋を作れるようにし、児童が作成したポスターを縮小して募金袋の表紙デザインになるように工夫した。その都度募金額を校内放送で発表するなど、児童もやりがいを感じて取り組んでいた。

